

シリーズ 社会福祉法人の力を地域に

～社会福祉法人の地域における公益的な取組を紹介～

社会福祉法が改正され、すべての社会福祉法人は、「地域における公益的な取組」を行うことが責務として規定されました。社会福祉法人の公益性・非営利性など、その本旨に従い、他の事業主体では困難な福祉ニーズへの対応が求められています。

「うみそら わ・もっそ こども食堂 ～気にかけてあう仲間づくり～」

(社福) 弘和会・(社福) 輪島市社会福祉協議会

取り組みの背景

社会福祉法人弘和会の運営する「うみそらキッチン」では、一人で食事をとっている地域の子どもからお年寄りまで誰でも来れる食事の提供・居場所づくりを行っており、もっと多くの人に、気軽に立ち寄っていただきたいと考えていました。また、輪島市社会福祉協議会(以下社協)は、こども食堂を開催していますが、社協が行うこども食堂以外にも、子育て世帯等への見守りをしていきたいと考えていたことから、両法人で連携し、「うみそら わ・もっそ こども食堂」を開催することとなりました。



取り組みの内容

当日は、「わ・もっそ こども食堂」を利用している親子、「うみそらキッチン」に食事に来ているお年寄りや放課後等デイサービスを利用する子どもたち、ボランティアの皆さん総勢約40名の方が集まりました。同じ地域に住んでいても、なかなか知り合う機会がない子どもたちや、お年寄りたちが食事づくりやゲームを通して交流をすることで、顔が見える関係ができ、お話も弾みます。参加者からは、「手伝ってもらいながら作って、みんなで食べた

のが楽しかった」、「絵本の読み聞かせの時に、みんなの目がキラキラとして夢中になっていた」などうれしい声がたくさん聞かれました。

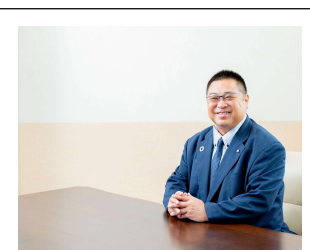
これからの取り組みについて

【弘和会】

輪島市社協と協働した活動ができていますので、もっと進化させたいと思っています。いろんな組織と組織が繋がって、地域の課題に向き合いたいです。生活支援にかかわる社協のノウハウと私ども社会福祉法人の原動力が合わされば、横のつながりや助け合いの輪が広がるのではないかと考えています。

【輪島市社会福祉協議会】

今日の社会情勢の中で、様々な課題が増えてきています。この取り組みは、顔見知りをつくり、お互いを気にかける関係づくりの活動だと考えています。今では、ここに来てくれる子どもたちが、一緒に運営を手伝ってくれています。人とのかわりを通して、支えられていた子ども「今度は私たちが!!」と人との関わりが広がることを願っています。



弘和会 敵理事長



輪島市社協 田中局長

【問い合わせ】

(社福) 弘和会 TEL 0768-22-4141 (社福) 輪島市社会福祉協議会 TEL 0768-22-2219

◇◇◇地域における公益的な取組をシリーズで発信していきます。情報をお寄せください。◇◇◇